## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

03-142685

(43)Date of publication of application: 18.06.1991

(51)Int.CI.

G06F 15/62

(21)Application number: 01-279778

(71)Applicant : ALPHA CORP

(22)Date of filing:

30.10.1989 (72)Inventor

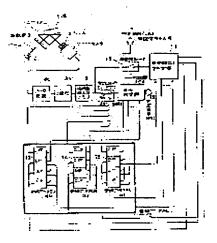
(72)Inventor: USUI TOSHIYUKI

#### (54) METHOD AND DEVICE FOR RECOGNIZING FINGERPRINT

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a recognition rate higher than ever by storing a new fingerprint pattern with high rate of concordance instead of the fingerprint pattern with low rate of concordance already stored sequentially.

CONSTITUTION: The device is equipped with a registration data memory 12 provided with (n) storage areas 13, 14, and 15 comprising registration data memories #1-#N, a registration switch 9, a collation judging part 10, a re- registration switch 18, a re- registration area judging part 11. And the fingerprint of the same fingerprint of the same finger is stored in plural fingerprint patterns, and when the comparison of an inputted one fingerprint pattern is performed, it is compared with registrated correct plural fingerprint patterns, and also, the fingerprint pattern including a segment with higher rate of concordance is registered instead of the fingerprint pattern with low rate of concordance. Thereby, it is possible to improve the rate of concordance without lowering collation accuracy, and to accurately recognize even the fingerprint of a child whose fingerprint pattern remarkably changes and grows in a short period with a learning function.



#### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP) ⑪ 特許出願公開

# 母 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-142685

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)6月18日

G 06 F 15/62

460

9071-5B

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全7頁)

指紋認識方法及びその装置

> 頤 平1-279778 20特

@出 願 平1(1989)10月30日

70発明者

俊 之

東京都大田区蒲田2丁目8番2号 国産金属工業株式会社

の出 願 人 国産金属工業株式会社 東京都大田区蒲田2丁目8番2号

79代理人 弁理士 清水 敬一 外1名

1. 発明の名称

指紋認識方法及びその装置

#### 2. 特許請求の範囲

(1) 指の表面において反射する光ビームの 指紋パターンを受信して光ピームの指紋パターン を構成する各セグメントを登録データメモリ内に 記憶する過程と。

既に登録データメモリ内に記憶している指紋パ ターンのセグメントと受信した指紋パターンのセ グメントとを比較して一定数以上のセグメントが 一致したときに一致信号を出力する過程と、

登録データメモリ内に記憶している指紋パター ンのセグメントと受信した光ピームの指紋パター ンのセグメントとの一致率を演算する過程と、

既に登録データメモリ内に記憶している指紋パ ターンのうち、一致率の低い指紋パターンに代え て、受信した指紋パターンを登録データメモリ内 に記憶する過程と。

を含むことを特徴とする指紋認識方法。

(2) 登録データメモリを書き込みモードに 切替る過程と、

指の表面において反射する光ピームの指紋パタ ーンを受信して光ビームの指紋パターンを構成す る各セグメントを登録データメモリ内に記憶する 過程と、

登録データメモリを読出しモードに切替る過程

既に登録データメモリ内に記憶している提紋パ ターンのセグメントと受信した指紋パターンのセ グメントとを比較して一定数以上のセグメントが 一致したときに一致信号を出力する過程と、

登録データメモリ内に記憶している指紋パター ンのセグメントと受信した光ビームの指紋パター ンのセグメントとの一致串を演算する過程と、

既に登録データメモリ内に記憶している指紋パ ターンのうち、一致率の低い指紋パターンに代え ・て、受信した指紋パターンを登録データメモリ内 に記憶する過程と、

を含むことを特徴とする指紋認識方法。

(3) 登録データメモリを書き込みモードに 切替る過程と、

措の表面において反射する光ビームの指数パターンを受信して光ビームの指数パターンを構成する各セグメントを登録データメモリの第1記憶エリア内に記憶する過程と、

登録データメモリを統出しモードに切替る過程 レ

既に登録データメモリの第1記憶エリア内に記憶している指紋パターンのセグメントと受信した指紋パターンのセグメントとを比較して一定数以上のセグメントが一致したときに一致信号を出力する過程と、

受信した複数の指紋パターンを登録データメモ リの第2記憶エリア以降の記憶エリア内に記憶す る過程と、

登録データメモリの第2記憶エリア以降の記憶 エリア内に記憶している指紋パターンのセグメン トと受信した光ビームの指紋パターンのセグメン トとの一致率を演算する過程と、

照合判定部の一致信号に基づいてセグメントの一 致率を演算し、記憶エリアに記憶された指紋パタ ーンのうちより低い一致率の指紋パターンに代え て比較した指紋パターンを記憶エリアに記憶させ る再登録エリア判定部を有することを特徴とする 指紋認識装置。

#### 3. 発明の詳細な説明

#### 産業上の利用分野

この発明は指紋パターン認識、特に学習機能を 有する指紋認識方法に関するものである。

#### 従来の技術

提紋の指紋パターンを認識してその指紋パターンを記憶し、その後入力された指紋の指紋パターンと比較して一致したときに一致信号を発生する 指紋認識装置は公知である。

例えば、実開昭 6 3 - 7 6 9 6 4 号公報には、 照合すべき指紋画像と登録された指紋画像とを照 合する指紋照合装置において、被照合指の指紋画像を表示するモニタを備えると共に、モニタ画面 上に指置きガイドを描くようにした指紋照合装置 既に登録データメモリ内に記憶している指紋パターンのうち、一致率の低い指紋パターンに代えて、受信した指紋パターンを登録データメモリ内に記憶する過程と、

を含むことを特徴とする指紋認識方法。

- (4) 第1記憶エリア内に記憶した指数パターンを新たな指数パターンにひき換えない請求項(3)に記載の指紋認識方法。

#### 発明が解決しようとする凝題

ところで、従来の指紋認識装置では、指紋の光学的信号指紋パターンを多数のセグメントに分解して、各セグメントの2値化信号によりどの程度のセグメントが一致したかにより、同一の指紋パターンであるかを認識している。被験者が常に一定の押圧力又は一定の方向で指をプリズムに対して押圧することは困難である。従って、一度指紋

の指紋パターンをメモリに登録しても、登録した 指紋パターンとその後に入力した指紋パターンと の一致率が低く、正しい認識結果を得るのに何度 も指紋の指紋パターンを入力しなければならない。

そこで、この発明は学習機能により既に記憶し た一数率の低い指紋パターンの代わりに一致率の

を構成する各セグメントを登録データメモリ内に 記憶する前に、登録データメモリを書き込みモー ドに切替る過程と、登録データメモリを読出しモ ードに切替る過程とを含んでもよい。

また、この発明による指紋認識方法は、指の表 面において反射する光ピームの指紋パターンを受 信して光ビームの指紋パターンを構成する各セグ メントを登録データメモリの第1記憶エリア内に 記憶する過程と、既に登録データメモリの第1記 億エリア内に記憶している指紋パターンのセグメ ントと受信した指紋パターンのセグメントとを比 鮫して一定数以上のセグメントが一致したときに 一致信号を出力する過程と、受信した複数の指紋 パターンを登録データメモリの第2記憶エリア以 降の記憶エリア内に記憶する過程と、登録データ メモリの第2記憶エリア以降が記憶エリア内に記 惊している 指紋パターンのセグメントと受信した 光ピームの指紋パターンのゼグメントとの一致率 を演算する過程と、既に登録データメモリ内に記 憧している指紋パターンのうち、一致串の低い指 高い新しい指数パターンを記憶することにより高い認識率が得られる指紋認識方法及びその装置を 提供することを目的とする。

# 課題を解決するための手段

この指紋認識方法は、光ビームの指紋パターン

紋パターンに代えて、受信した指紋パターンを登録データメモリ内に記憶する過程とを含んでもよい。第1記憶エリア内に記憶した指紋パターンは新たな指紋パターンに書き換えられない。

この発明による指紋認識装置は、光顔と、指紋 を検出すべき指を配置すると共に光源からの光を 受光するプリズムと、指の表面から反射する光を 受光する受光手段と、受光手段の出力をA-D変 換した後、2値化するコンパータと、コンパータ の出力を一時的に記憶する入力メモリと、問一の 指の表面から得られた指紋パターンをそれぞれ記 惚する複数の記憶エリアと、登録スイッチを介し . て入力メモリから送出される指紋パターンのセグ メントと、記憶エリアに記憶された指紋パターン のセグメントとを比較して指紋パターンを構成す る一定数以上のセグメントが一致したときに一致 信号を発生する照合判定部と、照合判定部の一致 信号に基づいてセグメントの一致率を演算し、記 位エリアに記憶された指紋パターンのうちより低 い一致率の指紋パターンに代えて比較した指紋パ

ターンを記憶エリアに記憶させる再登録エリア判 、 ・ 定部を有する。

#### 作\_\_\_用

- 『光瀬から風射された光がプリズムを通り指の表 面で反射した後、受光手段により受光される。指 の表面において反射する光ビームの指紋パターン は受光手段により受光され、光ビームの指紋パタ ーンを構成する各セグメントが登録データメモリ 内に記憶される。受光手段の出力はコンパータに よりA-D変換した後、2億化された後、入力メ モリにより一時的に記憶される。このとき、登録 スイッチが甞き込みモードにシフトされていると、 入力登録データメモリに記憶された指紋パターン は第1記憶エリアに記憶される。その後、登録ス イッチは読出しモードに切替られる。従って、そ の後、受光手段で受光される指紋パターンは入力 メモリに記憶された後、照合判定部は、登録スイ ッチを介して入力メモリから送出される指紋パタ ーンのセグメントと記憶エリアに記憶された指紋 パターンのセグメントとを比較して指紋パターン

を構成する一定数以上のセグメントが一致したときに一致信号を発生する。これと同時に、後続の指紋パターンは第2記憶エリア以降の記憶エリアに指紋パターンが記憶されると、再登録エリア判定部は、照合ので記憶されると、再登録エリア判定部は、照本ので記憶された指紋パターンに記憶された指紋パターンを第1記憶エリア以外の記憶エリアに記憶させる。

#### 実 旗 例

以下、指紋錠に応用したこの発明の実施例を第 1 図~第3 図について説明する。

第1 図に示すように、指紋認識装置は、光源2 と、拡散板3を介して光源2からの光ビーム1を 受光するプリズム4とを有する。プリズム4の上 面には、指紋を検出すべき損5が配置される。指 5 の表面から反射する光ビーム1はレンズ6を介 して受光手段としてのCCDカメラ7により受光 される。CCDカメラ7の出力はコンバータを構

成するA-D変換器8aによりA-D変換された 後、BCD変換器8bにより2値化され、BCD 変換器8bの出力は入力メモリ8に記憶される。

ここで、登録スイッチ9が接点9b側に切替ら れていると、入力メモリ8に記憶された指紋情報 は登録データメモリ12に登録される。登録デー タメモリ12には登録データメモリ#1~#Nの n個の記憶エリア13、14、15を偉えている。. 最初に登録される指紋情報は登録データメモリ# 1の第1記憶エリアに記憶される。第1記憶エリ ア1に記憶された後、登録スイッチ9は接点9a・ 側に切替られる。服合判定部10は登録データメ モリ12及び登録スイッチ9を介して入力メモリ 8に接続される。また、入力スイッチ8の出力は 再登録スイッチ18を介して再登録エリア判定部 11に接続される。再登録スイッチ18はIC内 のスイッチング索子で構成される。照合判定部1 0の出力は指紋パターンが一致したときに、指紋 錠のロック機構及び再登録スイッチ18に送出す る解綻信号として一致信号を送出するOK表示部

17と、指紋パターンが不一致のときに不一致信号を送出するNG表示部16とに接続される。再登録エリア判定部11は登録データメモリ#1~ #Nの第2記憶エリア以降のエリアに接続される。

上記の構成において、照合判定部10、再登録 エリア判定部11及び登録データメモリ12は第 2回に示す動作シーケンスに基づいて作動される。

第2図において、スタートからステップ20に 違み、画像データ入力を行う。第1回に示すよう に、プリズム4の上面に指5を置いて画像データ の入力を行う。このため、光源2から照射された 光ビーム1は拡散板3を通り、プリズム4に入射 する。プリズム4から出た光ビーム1は、指5の 表で反射した後、再びプリズム4内及び免光された の大きで、CCDカメラク変換器8aによりA-D 変換器8bの出力は入力メモリ8に記 位される。

次に、ステップ21に進み、登録モードか否か

判断される。登録モードの場合には、登録スイッチ9が接点9bに切替らている。従って、ステップ21においてYesの場合にはステップ26に進み、登録データメモリ#1の第1登録エリア1へ入力された後、ステップ20に戻る。登録データメモリ#1では第3回のAに示すように第1登録エリア1に指紋情報が記憶される。詳細には回示しないが、この指紋パターンは2値化された多数のセグメントで構成される。

ステップ21において、登録されていて、登録点が9aに切替られていまるとき、入力メモリ8に入力された指数メモリ8に入力を設定している。入力は限合判定はないではされた対対・ファンと、関合判定のでは、関合判定のでは、関合判定のでは、関合判定のでは、関合判定のでは、関合判定のでは、関合判定のでは、関合判定のに対対ができた。関合対域に、関合判定のに対対ができた。関合対域に対対ができた。関合に対対ができたがある。

常に演算しかつ記憶している。

同様な方法において、第3登録エリア3及び第4登録エリア4にも更に後の指紋パターンが補助指紋データとして登録される。第3登録エリア3及び第4登録エリア4に指紋パターンを登録エリア4に指紋は変した、第2登録エリア2~第4登録エリア2~第4登録エリア2~第4登録エリア2~第4登録エリア2~が正数された全ての指紋パターンのセグメントとが比較されるから、一致率を向上することが可能となる。

第4登録エリア4まで記憶され、更に新たな指数パターンが入力されたときは、再登録エリア判定部11は、記憶エリア2~4に記憶された指数パターンのうちより低い一致率の登録エリアを摂ける(ステップ24)。その後、再登録エリア判定部11は、既に登録されている指紋パターンを一致率の低い記憶させる(ステップ25)。

上記の実施例では、同一の指の指紋を複数の指

借号を発生し、この一致倡号はOK表示部17及 び再登録スイッチ18に送出される(ステップ2 3)。従って、再登録スイッチ18がオンになる。 しかし、ステップ22において、一定数以上のセ グメントが一致しないとき、照合判定部10はN G表示部16に出力を送出して、ステップ20に 戻る。ステップ23においてOK表示部17が作 動された後、後の指紋パターンは再登録スイッチ 18及び再登録エリア判定部11を通り、登録デ - タメモリ#1~#Nのうち、指紋パターンの一 致した第1登録エリア1の補助指紋データとして、 第1登録エリア1と同一系列である記憶エリア1 3、14、15の1つ第2登録エリア2に記憶さ れる。ステップ24では、未登録の登録エリアを 一般虫素の登録エリアと判断する。第2登録エリ ア2に指紋パターンを登録した状態を第3回Bに 示す。再登録エリア判定部26では照合判定部1 0 の一致信号に基づいて再登録される指紋パター ンの一致率と、相当する登録エリアに記憶された **指紋パターンを構成するセグメントとの一致率を** 

紋パターンとして記憶し、入力された1つの指紋パターンの比較の際に、登録された正しい複数の指紋パターンと比較すること。及び指紋パターンを開いますの低い指紋パターンを一致率の低い指紋パターとはである。また、一致なりに、一致ないである。また、短期の向くはないである。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短期の行ってある。また、短いできる。

この発明の上記の実施例は確々の変更が可能である。例えば、登録データメモリ内には任意の系列数の登録エリアを設けることができる。また、上記の実施例では、この発明を指紋錠に応用する例を示したが、指紋錠以外の他の出入管理装置にこの発明を応用できることは理解されよう。

### 発明の効果

この発明では、既に記憶した一致率の低い指紋 パターンの代わりに一致率の高い新しい指紋パタ

र अस्ति ुन्हर

ーンを顧次記憶して、より高い認識率が得られる 指紋認識方法及びその装置を得ることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明による指紋認識装置の構成を示すプロック図、第2図は第1図の指紋認識装置の動作シーケンスを示すフローチャート、第3図は第1図に示す登録データメモリの各登録エリアに記憶される指紋パターンの順序を示す。

1. 光ビーム、2. 光源、4. プリズム、5. 指、7. CCDカメラ(受光手段)、8. 入力メモリ、8a. , A-D変換器、8b. . B CDコンパータ、9. . 登録スイッチ、10. . 概合判定部、11. . 再登録エリア判定部、12. . 登録データメモリ、13~15. . 記憶エリア、

特許出願人 国産金属工業株式会社 代 理 人 清水数 まか1名)

